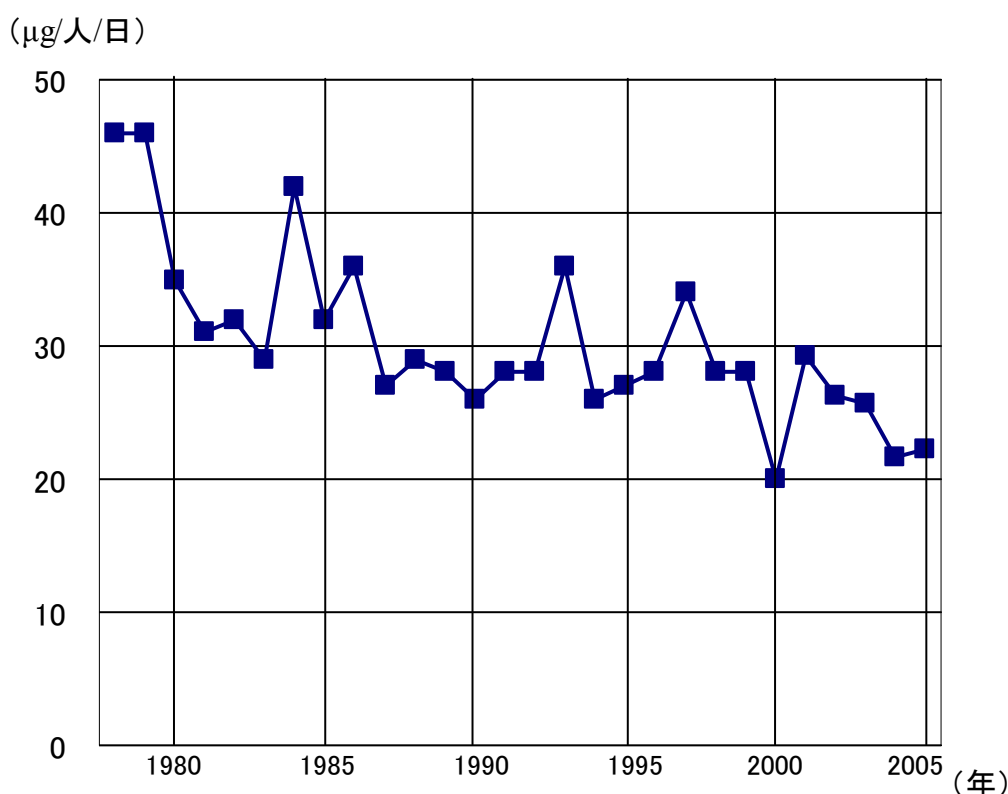


ウムの摂取量は、1970年代後半に46 μg /人/日であったが、それ以降、かなり減少してきており、2005年に22.3 μg /人/日（体重53.3kg⁶で2.9 μg /kg 体重/週）となっている。また、1996年から2005年までの10年間の平均摂取量は、26.3 μg /人/日（体重53.3kgで3.6 μg /kg 体重/週）であり、FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）が設定した暫定耐容週間摂取量（PTWI）の約50%である（図2）。2005年における14食品群からのカドミウム摂取量の割合は、米類由来の摂取が46.5%、魚介類12.8%、野菜・海藻類12.4%、雑穀・芋類12.4%、及び有色野菜類5.2%である（文献4 - 20、4 - 21）。

この他、独立行政法人国立環境研究所は平成7年から平成12年までの6年間の国民栄養調査のデータと食品別カドミウム濃度から確率論的曝露評価手法（モンテカルロ・シミュレーション）を適用して、日本人のカドミウム摂取量分布⁷の推計を行っている（図3）。この結果、現状の農水産物のカドミウム濃度においても、日本人のカドミウム摂取量分布は平均値3.47 μg /kg体重/週、中央値2.93 μg /kg体重/週、範囲0.67～9.14 μg /kg体重/週、95パーセンタイル7.33 μg /kg体重/週であると報告されている（文献4 - 22）。

図2 食品からのカドミウム摂取量の推移



※ 日本におけるトータルダイエツト調査（文献4 - 20）及び食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究（文献4 - 21）より引用

⁶ 平成10年から平成12年度の国民栄養調査に基づく日本人の平均体重（全員平均53.3kg、小児平均15.1kg、妊婦平均55.6kg）。

⁷ この摂取量分布は、計算上のものであり、分布図の右側部分は、統計学的に非常に誤差が大きく、非常に確率が低い場合も考慮されている領域である。したがって、実際にはPTWIを超える人は、ほとんどいないと考えるのが妥当である。